

「開かれた幼稚園」

11月16日(水)、吾妻小富士には雪が降りましたが、暖かな陽ざしの中、「いい電」に乗って、みんなで県立図書館へ行きました。

図書館の庭では、落ち葉の中で木の実をたくさん拾いました。そのあと図書館の中に入り、絵本を借りたり、司書の方に本を読んでもらったりしました。今回も2名の保護者の方が、引率として参加してくださいました。感想を書きいただきましたので、紹介します。



- 園外で、お友達と楽しそうに散策する様子を間近で見ることができて良かったです。図書館を身近に感じられるよい機会になったと思います。
- 家庭では大人が、服が汚れるから、危ないからと、先回りしていろいろ考えてしまい、あまり自由に遊ばせてこなかったのが、今回、散策でドングリや落ち葉を一生懸命探したり、落ち葉で遊んだり、とても子どもたちが楽しそうにしている姿を見て、家での接し方を考えるきっかけになりました。
- 元気に「こんにちは！」とあいさつしている様子が良かったです。
- 初めてボランティアに参加させてもらったときの子どもたちは、電車が見えると大騒ぎで、電車の中でもソワソワしている様子でしたが、何度か「いい電」に乗り、電車に乗れる嬉しさはあるものの、ルールを理解して、騒がず、落ち着いて電車に乗ることができるようになっていて驚き、経験は大切だなと感じました。
- 市内に住み始めて数年なので、初めての場所に行くのは勇気が必要で、図書館には連れて行ったことがなかったため、このような機会に参加させていただき、良かったです。子どももまた行きたいと言っていたので、図書館が少し身近になったようでした。
- 子どもたちのキラキラした笑顔に元気をもらいました。ありがとうございました。



一緒に引率して下さった保護者の方々が、教師の思いや願い、そしてその子どもたちの成長した姿をきちんと理解してくださっていて、本当にうれしく思います。

教育は、幼稚園だけでできるものではありません。保護者の方々や地域の方々など、様々な人が関わる「開かれた幼稚園」でありたいと思っています。